オーフス２０１７がプログラムに乗り出します：
象徴的な国際的作品から絶対的なデンマーク製へ

欧州文化首都オーフス２０１７の完全なプログラムがちょうど今あのデンマークの都市での紹介イベントで発表された。

「新作、特別な委員会、プレミア、重要なイベントと祭りでオーフス２０１７は創造的な力作になるだろう。また、たくさんの無料・有料のイベントを包含しており、巨大かつヒューマンスケールの経験となる」とオーフス２０１７の最高経営責任者のレベッカ・マシューズが述べた。

絶対的なデンマーク風のハイライトとしては、フランス・グンナー・ベングソン（Frans Gunnar Bengtsson）の古典的なバイキング伝説の「赤蛇」（Red Serpent）が華々しく再話され、シンガーソングライターのオ・ランド（Oh Land）をフィーチャーする港での素晴らしい水音楽ショーとオスカー賞を受賞した映像作家スサンネ・ビア（Susanne Bier）の有名な映画三部作がオペラ、ダンス、そして演劇公演として再上演される。

その上、このプログラムはスカンジナビア、ヨーロッパとその他の国々から素晴らしい多くの国際的な才能に目を向け、一年を通してグローバルな文化を中央デンマーク地域にもたらしている。「考え直そう」という表象の下に、オーフス２０１７は未来に必要な選択を見つけ出すため、芸術や文化を手段として使用しようではないかと世界に問いかけている。どのような選択でも、住み方または働き方や住んでいる場所、社会構造に変化をもたらす。

「来年、オーフスに集まる抜群の芸術家の様々な視点や創造的なエネルギーというのがこのような変化を管理する触媒とリソースになるように願うばかりである」とレベッカ・マシューズが述べた。

オーフス地域と訪問者は今現在の国際的な舞台の最も劇的で文化的な才能に私的に近づく機会がある。例えば、音と視覚における人間のアイデンティティの活気のあるハーモニーを提供するオーフス２０１７のアノーニ（Anohni）というアーティスト・イン・レジデンス、ディスタント・フィガー（Distant Figure）の出演、そして、米国の現代演劇の伝説的演出家のロバート・ウィルソン（Robert Wilson）、そして象徴的な芸術家の振付師ルシンダ・チャイルズ（Lucinda Childs）と作曲家フィリップ・グラス（Philip Glass）の合作がその例である。また、オーストラリアの俳優ケイト・ブランシェット（Cate Blanchett）は、ドイツの芸術家ジュリアン・ロソフィルト（Julian Rosefeldt）によって「マニフェスト」という画期的なプロジェクトのテキストコラージュに全身全霊を注ぎ込む。

振付師ウェイン・マクレガー（Wayne McGregor）とパリ・オペラ座バレエ団は、オラファー・エリアソン（Olafur Eliasson）の舞台演出のもと、ジェイミー・エックス・エックス（Jamie xx）に作曲された音楽を使いながら、米国の小説家ジョナサン・サフラン・フォア（Jonathan Safran Foer）の「コードのツリー」（Tree of Codes）を新しい作品へと変える。音楽を通じて、自由、平等と共存を祝うことを目的とするプロジェクトとしては、伝説的なウェスト＝イースタン・ディヴァン管弦楽団、ピアニストと指揮者ダニエル・バレンボイム（Daniel Barenboim）をフィーチャーするコンサートもある。

欧州文化首都のプログラムが発表された時、オーフス２０１７の最高経営責任者レベッカ・マシューズは、私たちの「日常の英雄」として、その一年間をサポートする多くのボランティアに敬意を払い、同様に、パートナーやスポンサーのおかげで、８年来の夢が現実になったことに感謝しながら、「考え直そう」の精神はプログラムの基盤となったと述べた。「これからの年に、私たちは非常に興奮している。私たちが作り上げたプログラムの品質と多様性は、オーフスまたはデンマーク、もしくは外国から来ているすべての人を楽しませられるだろう。今、私たちは、芸術と文化には品質というのが何を意味するか結論づけるために、地元の方の意見と文化のグローバルな専門家の知識を組み合わせて、歴史的な変化を生む年を作ったのである。」

驚異的な５００ページのオーフス２０１７プログラムガイドには、２０１７年に行う芸術や文化イベントの完全な詳細が何百も紹介されている。世界的なスターにフィーチャーする象徴的なステージベースのイベント、あるいは小さくてより親密な展示会、討論会やコミュニティ活動といったすべてのプログラムが、家族、快楽目的者、そして懐疑主義者にも、受け入れられるものであり、全員に「考え直そう」という　コンセプトを勧めるものである。女王陛下マルグレーテ２世もオーフス２０１７の　後援者として、プログラムの序文にこのように述べた「再考しなさい：新しく考え、改めて考え、もう一度考えなさい」ということである。

写真
写真は著作権はないが、キャプションに写真家の名前を付けてください。

女王陛下マルグレーテ２世が地元の子供であるアンナとマグヌスから
オーフス２０１７のプログラムブックの最初のコピーを受け取る（写真：JJ Film）

レベッカ・マシューズ、欧州文化首都オーフス２０１７の最高経営責任者
（写真：Michael Grøn, Billedmageren）

赤蛇（Red Serpent）からのシーン、オーフス２０１７（写真：Montgomery Studio）

自然の中のバイオリン少女、オーフス２０１７（写真：Montgomery Studio）

編集者への注意事項：
１９８５年に開始されてから、欧州文化首都というのは、ヨーロッパで最も野心的とされる国際的な文化プロジェクトである。それは、ヨーロッパの文化の豊かさと多様性を体現しており、ヨーロッパの市民の間に大きな相互理解を生むのに貢献している。

都市は、強いヨーロッパの側面を持っており、都市の住民の関与を促進し、地域の長期的な発展に貢献する文化的なプログラムに基づく肩書きのために選択されている。

タイトルを主催する規則および条件は、欧州議会と欧州連合理事会の決定をもとに提示される。オーフスは、２０１７のタイトルをキプロスのパフォスと共有する。

後援者：デンマーク王国の女王陛下マルグレーテ２世は欧州文化首都
オーフス２０１７の後援者である。

公式開会日：２０１７年１月２１日（土）、オーフス、デンマーク。

ホームページとオンラインプログラム：（英語で）http://www.aarhus2017.dk/en

詳しくは：（英語で）ベント・ソレンセン（Bent Sørensen）、コミュニケーション・マネージャー、欧州文化首都オーフス２０１７。電話（0045）31-47-88-03。
email: bent.sorensen@aarhus2017.dk